

2019年10月21日

立教大学国際学術研究交流制度
2019年度「招へい研究員」報告書

1. 招へい概要

受入 教員	所属・職	異文化コミュニケーション学部・教授
	氏名	小倉 和子
受入学部・研究科・研 究所		異文化コミュニケーション学部
招へい 研究員	所属・職	Professor, The School of Management, University of Quebec at Montreal 所属機関所在国：カナダ
	氏名	Martin Drouin
招へい期間		2019年10月4日～2019年10月11日（8日間）
研究経費		292,010円

2. 滞在中の活動

来日日および離日日を含め、滞在中の活動を記入してください。全日程（毎日）記載する必要はありません。
講演会やセミナーなどを開催した場合はタイトル、会場、参加者数等を記載してください。

活動内容記入例）〇〇について研究討議、共同研究、講演、講義、大学院生への研究指導等

*「本学との学術協定（学部間・研究所等間を含む）の締結または既存協定の維持・強化に資する活動」を行
った場合は、該当する活動内容に※を付してください。

年月日	活動内容
2019年10月4日	来日。滞在中の予定の確認と夕食。
2019年10月5日	ケベック研究者との意見交換および歓迎会。
2019年10月6日	講演「ケベックの遺産と観光：長い歴史のためのいくつかの指標」 M202、参加者数約70名。
2019年10月8日	セミナー「モントリオール旧市街の再生：遺産、観光、生活環境」 N247、参加者数11名。※
2019年10月11日	離日。

3. 研究・交流状況および成果

上記に記載した活動について、具体的な研究・交流の内容および成果を、本学の学術研究、教育活動、国際交流の進展へ与える効果を含めて、記載してください。講演会やセミナーなどの参加者層（学生、大学院生、一般、教職員等）、会場の様子なども記載してください。

10月6日（日）の講演「ケベックの遺産と観光：長い歴史のためのいくつかの指標」は、日本ケベック学会の全国大会（異文化コミュニケーション学部共催）の枠内での講演だった。内容はカナダ・ケベック州における自然遺産、有形文化遺産、無形文化遺産が現代の観光産業によってどのように活用され、その発展に寄与してきたか、またそれによってどのように遺産が保護されてきたかという、ケベックにおいてもいまだ研究途上のテーマについて、多くの画像資料を用いながら論じられた野心的な講演だった。

今年度は立教大学が日本ケベック学会の全国大会の当番校になっていたこと、立教大学には観光学の長い歴史があること、昨年、成田ーモントリオール間に待望の直行便が就航したことなどから、今回の大会のメインテーマを「旅、移動、文学」に設定したうえでの企画であった。大会の他の研究発表、対談、シンポジウムのテーマとも相乗効果があり、意義深い講演だった。学会員のみならず、本学学生、教員、一般参加者にもケベックの自然遺産や文化遺産の魅力が伝わったのではないかと思う。

10月8日（火）のセミナー「モントリオール旧市街の再生：遺産、観光、生活環境」は新座キャンパスにおいて、観光学研究科主催で行われた。あいにく授業時間と重なっていたため、参加者は多くなかったが、観光学部教員、観光研究所所員、院生、学部生、ケベック留学経験者等が集まり、1960年代に行われたモントリオール旧市街の再開発に際しての方針（保存する建造物の選定基準）、歴史的建造物の再利用（観光、オフィス、住宅）に関する構想等について、より踏み込んだ話を聞き、討論することができた。

とくに、1960年代の「静かな革命」によりケベック州のフランス語化が進んだ結果、カナダにおける最大都市の座をトロントに譲ることになったが、それ以前は言語、文化、建築様式等がきわめて多様で活気ある国際都市だったモントリオールの姿をとどめながら、観光名所としてだけでなく、ビジネスや生活の場としても再開発するという姿勢を選び取ったことがよく理解でき、興味深かった。

（特記事項）本学との学術協定（学部間・研究所等間を含む）の締結または既存協定の維持・強化に資する活動を行った場合は、下記にその内容を記載してください。

ケベック大学モントリオール校と本学とはすでに学術協定を締結済みであり、とくに先方のコミュニケーション学部、文学部、経営学部と本学とのあいだでは教員や学生の交流が活発におこなわれている。

今回、本学の観光学部・同研究科の学生・教員を主たる対象者としたセミナーを新座で開催したことにより、関係がさらに強化されたのではないかと考える。また、本学の教員、学生にたいしてケベック州やその最大の都市であるモントリオールを紹介できたことにより、学術交流への関心がいっそう高まると期待したい。